

小野田陽子さんお話会と「福島双葉町の小学校と家族～その時、あの時～」のご案内

2月11日(土)、東日本大震災当時、双葉町立双葉北小学校教員であった小野田陽子さんのお話会を開催しました。お話は小野田さんが現在の勤務校で行っている自作の放射線授業から始まり、強制避難を経験した双葉郡の子どもたちが受け入れ地域に感謝しながら懸命に生活している様子などを伺いました。

私たちがお話会開催のきっかけとなったのは、事故直後から克明に記されてきた小野田さんの手記です。強制避難により児童生徒は全国に離散。児童の避難先を苦労の末探し出し、各地の教え子を孤立させないために、通信「双北(ふたきた)の光」を、また避難生活の記録「その時…」を全国に届けてきました。この度、この手記が出版されました。原発震災の真実を伝える貴重な証言です。ぜひお買い求めください。

価格:1500 円。問い合わせはセンターまで。



Mさんのモノローグ

桜が、今年も咲いた。

おかげさまで、現在、南相馬市の主婦で、夫と義母、小学生二人の子供と家族揃って生活している。

2011年3月11日大震災、津波、その後の原発事故のため、6年前は会津地方へ車で避難。

4月末には二重生活になり、図太い私も眠れない、子供たちは毎晩のように泣く、

そんな中で、たくさんの人に支えてもらいながら仮暮らしが3年半。

南相馬市へ戻り、震災時2歳だった娘が2015年4月小学校入学。

夫と義母へ1年生の姿を毎日見せられ、上の子の時に避難中で、見せられなかった分、嬉しかった。

浪江町の知り合いは、「建てたくて新しい家を建てる訳じゃない、嬉しくない。」と引っ越していった。

双葉町出身の友達は、「前のようなふるさととは、もうない。親戚付き合いも住むところが皆バラバラになって会う機会が減った。さみしい。」と話す。

富岡町の友人は、「いわきナンバーは、いかにも避難してきたと思われるから嫌だ」と県内に住む。

それぞれの立場で、場所で、いろいろな思いをもって今日も生活をしている。



南相馬市は勇壮な祭り「相馬野馬追」で有名。

～みなさまの温かいご支援で行われたプログラム～

第3回甲状腺検査を行いました

3月31日(金)、今田かおる医師(猪苗代町小川医院)のご協力により甲状腺検査を行い、12名が受診しました。福島県は原発事故当時18歳以下だった子どもと事故から1年後までに生まれた子どもを対象に2年毎に検査を行っていますが、会津放射能情報センターでは、保護者や幼児の受診も呼びかけています。また、特に帰省中の大学生や社会人が受診できるように、春休みや夏休みに開催しています。今後とも継続して、会員やご家族の健康を見守りたいと思います。

しゃべり場で冬の健康管理について学びました

「冬の健康管理は難しい…」との悩みに応えて、1月12日(木)と3月16日(木)のしゃべり場は「冬の健康管理」がテーマでした。講師は、隔月に来館し健康相談を担当して下さる山崎知行先生です。山崎先生はご自身の健康法でもある「操体法」を披露しながら、身体のゆがみを整えていく実践しゃべり場となりました。参加者からは「あら？さっきは右側の腰が張っていたのに、それがなくなったわ」との声も。山崎先生からは、その他に「真向法」や漢方の使い方、風邪を引いた時の注意点など、日常生活に取り入れやすいことを教えていただきました。笑い声や納得する声など、和やかに熱心に意見が交わされたしゃべり場となりました。



第2回「お泊り会」を行いました

昨年に引き続き、今年も自主避難者を対象に「一泊お泊まり会」を会津若松市内の温泉保養施設で開催。赤ちゃんから中学生までの子ども13名と母親8名、父親1名、そして山崎知行先生など総勢26名が参加しました。2011年センターが始まり、多くの県内自主避難者が集うようになりました。しかし、原発事故後3年を経た頃から、会津若松から県外に移住する家族や家族の元に帰る母子が増えてきました。また、今も自主避難継続中の家族もいます。移住しても帰還しても、避難を続けていても、それぞれに直面する課題はあります。さらに、移住先帰還先でセンターで出会ったような課題を共有できる仲間を見つけることは難しいのです。

久しぶりの再会に大人も子どもも大喜びでした。子どもたちは施設内の広場で汗を流し、大人はそれぞれの思いを十分に語る時を持ちました。「どこに住んでいても、私ができる最善のことを見つけて、子どもたちを守っていこう」とお互いを励まし、次の再会を約束して帰途に着きました。最後になりますが、どのお母さんからも、このプログラムを支えて下さる支援者の皆さまへ心からの感謝がありましたこと、ご報告致します。

水道水や地下水を検査中！

会津放射能情報センターで食品や衣類、土壌などを測定する放射能測定器はとても信頼性が高い機器ですが、さらに詳細に調べてみようとの声があがり、この度、県内在住の会員が日常的に使う水道水や地下水の検査を、日本環境モニタリング株式会社に依頼することになりました。日々の安心を確かめるために、みなさまのご支援のうち、1検体1万円×6本を活用させていただきました。結果はセンターメーリングリストなどでお伝えします。

4月1日(土)～4月6日(木)、センターはサンフランシスコ近郊・アラメダにあるブエナビスタ教会から高校生4名と引率者クリスティン・フォングさんをお迎えしました。同教会とは、2013年の夏、高校生海外保養プログラムで会津の高校生6名と片岡輝美代表を迎えてくださった出会いからのつながりです。

今回の旅は3月27日から始まりました。翌28日、日本基督教団国際青年会議 in 京都の初日に参加し、小原克博同志社大学教授の基調講演とおしどりマコケンさんのプレゼンテーションを聞き、原発震災後の今の課題を学びました。その後、神戸と広島を巡り、旅の後半は会津若松と仙台へ。2日礼拝後は、自己紹介プレゼンテーション、クリスティンさんのミニ英会話教室でイースタータマゴ作り、歓迎ボーリング大会、そして夕食には会津のラーメンを楽しみました。

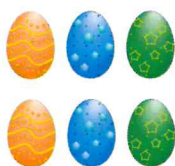
3日は県内・県外自主避難者のお母さんふたりから、原発震災がそれぞれの人生や家族に大きな影響を与えていることを直接伺いました。4日、東北教区被災者支援センターエマオで研修、5日は荒浜や関上など地震津波の被災地フィールドワークを行い、被災直後も今も、生命と人と人のつながりを大切にしている方々に出会いました。大地震を経験しているサンフランシスコ近くに住む彼らは、再びのもしもの時には、東北で出会った人々のように勇気と希望を持ちたいと感想を述べていました。会津若松プログラム参加者の声が届きましたので、ご紹介します。

嬉しい出会い、ありがとう！

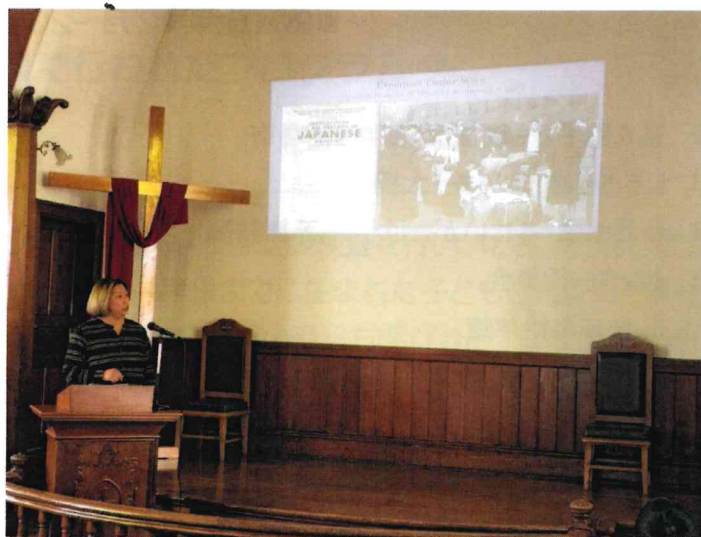
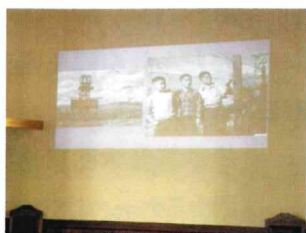
今回、彼らの日常生活について知りたい、そして同じ世代の外国人と色々な話をしてみたいと思い、参加しました。最初の方はお互いあまり打ち解けることができませんでしたが、様々なプログラムを一緒に行ううちに自然と距離が縮まり、たわいもない話もすることができました。短い交流でしたが、アメリカの文化を学んだり、外から見た日本について聞いたり、充実した時間だったと思います。将来、海外に出て行きたいと考えている私にとって、貴重な体験になりました。ありがとうございました。



平栗静那(高校2年生)



アジア系アメリカ人である彼ら自身についてのプレゼンテーション。大勢の参加者が耳を傾けました。クリスティンのお母さまは、第2次世界大戦中、日系人強制収容所で生まれた最初の赤ちゃんだったそうです。



会津の伝統工芸、漆器の時絵を体験しました。



～被災地をめぐり学ぶ旅～



参加者の感想

Stephen 君(17 歳)

During my experience in Japan over the course of a week and a half, I have learned so much and experienced new lifestyles outside of my home and comfort. Even now, I still have so much more I wanted to see that I still have yet to experience. I had so much fun being with the group of five friends that got me to go on this trip, travelling around as I learned more about how to manage my own belongings and not depend on anyone else, and meet new people and get along with them to create new connections and friends. Before I had gone on this trip, I hadn't known many of the disasters that occurred in many cities. Getting the chance to learn face to face with this trip, I learned a lot of the troubles Japan faces. It is very inspiring how people in Japan know when and the best way to evacuate in situations when the problem comes where I wouldn't know what to do in a situation like that if it happened in my town. Coming to Japan let me learn so much. When I went to Japan, I did not know what I was going to see or what situation I was going to be in, but as soon as I stepped out of that airplane, I felt the world was comforting. I wasn't scared as if I had been there before and it almost felt like home. I usually get homesick if I am away from my family for that long, but I did not have any sense of missing my home in the U.S. In Japan, everyone is nice and very polite wherever I went which is very different from America. Here in America, sometimes people are nice or polite, and sometimes people are not. I experienced how clean it was there too, how civilization was always hard working, and how people are always smiling. It felt like I was being welcomed wherever I went by kind people and I am still very happy that I was able to have this opportunity to experience Japan with my friends and meeting all these terrific people. Sincerely, Stephen Sum

(要約) 今回のプログラムに参加する前は、沢山の都市で起きた災害についてあまり知りませんでした。機会を得ることができたおかげで、日本が直面している沢山の問題について学ぶことができました。

日本ではアメリカとは全く違って、私がどこへ行ってもみんな親切で、とても礼儀正しかったです。アメリカでは、人々は時には優しく礼儀正しく、時にはそうでありません。私はどのような文明が、そしてどのような人々がいつも笑顔でいるのかを経験しました。私はどこへ行っても優しい人々に歓迎されているように感じました。

和訳 平栗静那さん
全文はセンターHP にアップいたします。

■2016年12月～2017年5月活動報告■

■12月

12日 第8回子ども脱被ばく裁判@福島市
15日 しゃべり場 センター大掃除
16日 新潟教会へ「にいがたはうす」感謝訪問
17日 センター役員会
24～1/5 年末年始休館

■1月

7日 報告@バザールカフェ・京都 60名 片岡輝美
8日～9日 報告@日本クリスチャンアカデミー・京都 47名
片岡輝美
11日～12日 山崎知行医師個別健康相談 2名
12日 山崎知行医師しゃべり場「冬の健康管理について」
おとな8名子ども2名
16日 教団国際青年会議実行委員会
21日 小林恒司医師しゃべり場 4名 個別相談 1名
23日 センター役員会

■2月

4日 パネルディスカッション@NCC 主催宣教会議 2018
プレ会議@西早稲田 60名 片岡輝美
11日 小野田陽子さんお話し会(双葉北小学校教員)17名
15日 第9回子ども脱被ばく裁判@福島市
16日 しゃべり場おとな7名、子ども2名
来館:上智大学ベルンハルト・ルメール博士(ドイツ人)
18日 報告@大阪教区核問題委員会@東梅田教会 60名
片岡輝美
19日 報告@和歌山・愛隣教会 20名 片岡輝美
23日 センター役員会

■3月

4日 小林恒司精神科医しゃべり場5名 個別相談4名
4日 来館:福島スタディツアー新潟教会青年会8名
長倉望牧師引率
10日 面談:センター支援団体CGMB・EMS 片岡謁也
10日 来館:沖縄教区・第5回東北の被災地と対話する旅
久保礼子牧師
13日 報告:九州教区 東日本大震災「6年」を覚える集会なら
びに第15回セクシャル・ハラスメント公開研修会
16日～17日
山崎知行医師健康相談 8名

16日 山崎知行医師しゃべり場「冬の健康管理について」
おとな9名子ども1名
18日 第2回お泊まり会@大江戸温泉 27名
おとな13名子ども13名
24日 ひだんれん福島県交渉
27日～31日
日本基督教団京都国際青年会議 同志社大学・関
西セミナーハウス 片岡謁也・輝美
31日 第3回甲状腺検査 12名

■4月

3月26日～4月7日
アメリカ合同メソジスト教会ブエナビスタ教会青年
東日本大震災被災地訪問 4名 引率者1名
2日 ブエナビスタ教会青年交流会:昼食・プレゼンテーシ
ョン・英会話教室・ボーリング大会 50名参加
3日 ブエナビスタ教会青年研修:福島現状報告と被災者
の証言、観光
4日～5日
ブエナビスタ教会青年仙台被災地研修
13日 しゃべり場:郭世宗牧師・武藤類子さん同席 13名
13日 センター役員会
26日～27日 来館:甲東教会婦人会 6名

■5月

6日 小林恒司精神科医しゃべり場6名 個別相談2名
11日 来館:オランダ、ライデン大学人文学部アジア学科
大学院2年生で現在東北大学に留学中のジェリンス
カ・オルガさん(ポーランド人)
13日 取材:こどけん 片岡輝美
センター役員会
19日 しゃべり場6名 山崎知行医師 個別相談1名
20日 山崎知行医師個別相談4名
22日～23日
報告:横浜共立学園修養会 片岡謁也・輝美
24日 第10回子ども脱被ばく裁判@福島市
29日～6月3日
研修&報告:第4回東アジア和解フォーラム@済州
片岡輝美

いつも当センターをお支えくださり、ありがとうございます。会費・協賛金および支援品によりお支えくださった方々のお名前を、敬称略で記載いたします。特記なき教会は日本基督教団です。万が一、記載落としがありましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

■個人

太田泰子 石川雅子 小島良一 増田典子 西島光代 くずめよし 中村光一 阿部順子 中山拓治 多田玲一 多田なおみ 横山義弘 横山恵子 森純江 船岡美喜子 寺田美和子 高田順久 島香美 佐藤公則 島田進 最上光宏 最上久美子 菅家庄一郎 河田隆史 小林米子 岩高澄 居谷教子 岩下潔 東海林裕美 岡野正 岡野裕恵 池田春善 青木宏子 阪本史子 石川嗣郎 向井武子 前川圭子 小西二巳夫 小西文江 矢野寛子 石井美雪 本田宏美 森田靖子 岩橋幹也 大木正人 鈴木務 田村修子 佐藤方信 ジェフリー・メンセンディーク 前田和子 倉橋佐江子 松木弥栄子 大中伸子 村上和 木村はるみ 島村紀美子 中沢譲 小林休 梅崎浩二 行本善則 林京子 佐久間愛 中川秀 右近史江 長井恭子 ロバート・ウィットマー 圭子ウィットマー 春木谷恵 樋口洋一 加藤公子 クリスチャン・ヘアマンセン 松田光代 伊藤三和 五十嵐こず恵 栗山文昭 幡江美智子 田中直子 清水英男 大和田貴子 浅野建児 齋藤久美子 野崎恵美 大関由佳里 石橋宗明 川口浩子 加藤陽子 鈴木真弓 野木晃子 笛木直子 古賀悦子 西岡裕芳 長井美歌 一色八重子 辻澤悦美 田頭紘子 与那城初穂 富塚元夫 渡部明江 ウェーラー・ルツ・エステル 鈴木祈 渡辺真人 三浦忠雄 安藤節子 武田隆雄 永尾佳代 渡辺宏子 菅野美智子 田伏和子 永井洋子 南天荘画廊 福田正美 田鎖夕衣子 普天間ともえ 山崎典子 中越洋子 稲垣悦子 青木道代 及川尚一 菅野美津恵 新井ななえ 小林順子 菅野順子 坂本恭子 鈴木道也 鈴木摩耶子 山崎陽子 山口和枝 白井康之 柳谷利起 廣野記子 國分直美 野口春夫 野口幸子 村上ますみ Judy Furuichi 小林愛子 向井希夫 宗田光悦 倉橋宇多子

■団体

福岡女学院教会女性会 千里聖愛教会 横浜地区婦人委員会 四街道教会婦人会 熱田教会 甲子園教会 新潟教会婦人会 下ノ橋教会 長崎銀屋町教会 日本福音ルーテル穂台教会 富士見高原教会 名古屋 YWCA 仙台北三番丁教会 神戸教会いずみ幼稚園 平塚中原教会 三津教会 東梅田教会教会学校 東海教区松本地区 6 教会 みどり保育園 矯風会安中 聖ヶ丘教会CS 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学キリスト教センター 信愛幼稚園 認定こども園宮古ひかり 神戸YWCA・アフタヌーンティー 東京YWCA・千葉ルーム 保内教会 アンサンブルアスコルタ 北海道クリスチャンセンター 青山町教会教会学校 東梅田教会 山梨英和中学校・高等学校 姫路野里キリスト教会 めぐみ幼稚園 日本バプテスト宣教団池田キリスト教会 日本ルーテル教団関東地区婦人の集い 京都西田町教会 倉吉教会付属めぐみ保育園 武庫川幼稚園 春日東教会「子どもの礼拝」西片町教会 めぐみ子ども園 美唄教会 イエス団みどり野保育園 兵庫松本通教会 震災支援グループ麦の会 久万高原キリスト教会 港南希望教会婦人会 宮古教会 滝川二の坂伝道所 都島教会 同志社教会 交野教会 中野桃園教会 甘楽幼稚園 高石教会 南大阪教会 神戸雲内教会 大阪西淀川教会 旭川六条教会 岡山教会CS 豊岡教会 宇部教会 十日町教会 坂戸いずみ教会 高槻南平台教会 美唄めぐみ幼稚園 東神戸教会CS 阿佐谷東教会 四街道教会 甘楽教会 京都上賀茂教会 桜美林教会 経堂緑岡教会 南山教会青年会 別府教会 矢吹教会 鹿児島加治屋町教会 水戸教会 沖縄教区教会婦人連合 天使幼稚園 在日大韓基督教会川崎教会・トラヂ会 多度津教会 高野山真言宗総本山金剛峯寺 甲山教会 島松伝道所 武蔵野扶桑教会 津久見教会 秋田高陽教会 久米田教会 小田原教会 神戸栄光教会 西千葉教会 神戸教会 千葉教会婦人会 鈴蘭台教会 SOWERS 台湾基督長老教会国際日語教会教会学校 東北教区会津地区 柳井教会 洲本教会 北光幼稚園 岡山教会 泉北梅教会 石橋教会婦人会 米沢教会 水沢教会 会津キリスト教連合会 仙台青葉荘教会東日本震災復興支援委員会 国分教会 刈谷教会 横浜英和学院 広島府中教会 桜美林学園キリスト教センター 島原教会 相模翠ヶ丘幼稚園 姫路教会CS いずみ教会 霊南坂教会 天満教会 尼崎教会 いずみ愛泉教会 横浜共立学園 鶴川シオン幼稚園 錦林教会 江別若葉学園元江別わかば幼稚園 今治教会 農村伝道神学校 大分教会 関西学院宗教活動委員会 新潟教会 鎌倉恩寵教会 前橋教会 神戸北教会 高の原教会 永山教会 ぶどうの木保育園 兵庫教区女性会神戸Aブロック委員会 溝ノ口教会 全国教会婦人会連合 月寒教会 札幌北光教会 核問題特別委員会 扇町教会 西中国教区社会部 宇部緑橋教会 伏見教会 明治学院教会 二宮教会 主恩教会女性会 京葉中部教会 上井教会 室蘭めばえ幼稚園 真駒内教会教会学校 神戸教会「放射能から子どものいのちを守る募金」岡山教会 鳳教会 神戸多聞教会 城崎教会 西中国教区山口中分区信徒大会 刈谷教会CS 東京パンフルートクラブ 田園調布教会 東神戸教会野の花の会 幕張教会 東広島教会 九州教区 小郡教会 紫野教会 UMCブエナビスタ教会 水口子どもの教会 鶴川北教会 新潟教会青年会 OVA実行委員会 フィーリー記念室委員会 沖縄教区第5回東北被災地の人々と対話の旅 九州教区東日本震災「6年」を覚える集会ならびに第15回セクシュアル・ハラスメント公開研修会 あいづ自然栽培農家の会 佐敷教会教会学校 防府教会 伊丹教会 宿川原教会 廿日市教会土曜子ども会 香椎教会 マルタマリアの会 草津教会 久万高原キリスト教会 会津RootsLive2017 農村伝道神学校後援会 恵泉女学園大学キリスト教センター 岡崎教会こどもの教会 広島南部教会 ワイズメンズクラブ東日本区メネット会 紫野教会教会学校 市川三本松教会 認定子ども園かおり幼稚園 梅花中高宗教部 藤沢大庭教会

■支援品

九州ラバース鳥栖牧瀬 四国教区 ヴォーリズ学園近江兄弟社小学校 1・5 年 山崎知行 中村純子 加藤陽子 札幌北部教会 遠州栄光教会 稲垣喜子 四国教区 早稲田教会婦人会有志 松山城南高等学校 子どもたちの健康と未来を守るプロジェクト a little(坂本恭子) 千歳栄光教会 四国教区 九州LOVERS長崎・木村雄一 飛騨アジア・アフリカ救援衣料チャリティー実行委員会

代表がこどけん通信の取材を受けました

5月13日(土)『こどけん通信』を発行している子どもたちの健康と未来を守るプロジェクトの方々が、片岡代表の取材に来館されました。同プロジェクトは、2011年より子育て中のお母さんたちに寄り添う活動を続け、『こどけん通信』は、放射能被ばくからの防護に関わる情報を伝える冊子として2016年8月から発刊されています。記事が掲載されましたらHP等でご案内いたします。



今年も北海道へ出かけて来ます！

今夏も「原子力行政を問い直す宗教者の会・寺子屋合宿」との共催で、北海道保養プログラムが8月中旬に行われます。今年も楽しくて美味しい思い出が、たくさん生まれることでしょう。参加する子どもたちの健康をお祈りください。



センターからのお知らせです

会員募集と年会費納入に関するお願い

■これまでのお支えに深く感謝いたします。

会費や協賛金のご送金は、なるべく「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用ください。納付状況などご不明の点があればセンターまでお問い合わせください。また払込取扱票をご入用の方はお送りしますのでご連絡ください。

年会費:個人 3000 円 団体:5000 円

振込先のご案内

<ゆうちょ銀行口座>

記号:02270-2 番号:116030

振込先名:会津放射能情報センター

<他銀行からゆうちょ口座への送金場合>

店名:二二九 店番:229

預金種目:当座預金 口座番号:0116030

■センター連絡先

tel&fax 0242-23-9401

メール info@aizu-center.org

開館日 水木金土 10:00~16:00
(祝日を除く)

メーリングリスト（ML）登録に関して

■ML はセンターからのお知らせや会員同士の情報をネット上で交換する場です。登録された方には滞りなく届いているでしょうか。最近、届かなくなったなどの不具合が生じた場合には、センターまでご一報ください。

メールアドレスとホームページに関して

■メールアドレスが変わりました。

info@aizu-center.org

■ホームページが新しくなりました。

<http://www.aizu-center.org/>

HP を見てセンターにつながる方々も増えてきました。NEWS でご案内していない情報もございます。ぜひご覧ください。



センター夏季休館日は8月11日(金)~17日(木)です。



～編集後記～

磐梯山と猪苗代湖。会津人が親しみと誇りを感じる象徴です。白銀に輝く冬、紅葉に燃える秋、緑なす夏と、四季折々美しい姿を見せてくれます(朋)